

■セネガル：セネガルがフランスと原子力発電を計画

セネガルがフランスの協力で原子力発電所の建設を計画していることが2010年3月9日にフランスが主催する原子力の民間利用促進に関する会議の場で明らかになった。プロジェクトが完成するとセネガルは南アフリカに次ぎ、アフリカ大陸で二番目の原子力発電保有国となる。セネガルのSamuel Amete Sarr エネルギー大臣によるとセネガルはフランスと協力して2020年までに発電所を運開させる予定であり、そのための準備を進めているとしている。また、同大臣は2012年から2020年までの主要なインフラ開発計画において、原子力発電プロジェクトが優先されると述べた。フランスのサルコジ大統領は原子力を安全で効率的なクリーンエネルギーとした上で、その前日である3月8日には原子炉建設に関するフランスの技術を提供するために65カ国を集めた会議をパリで開催していた。